

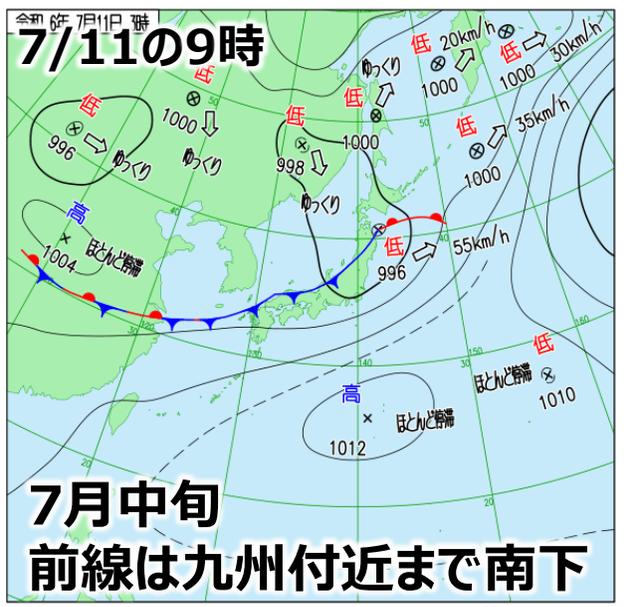
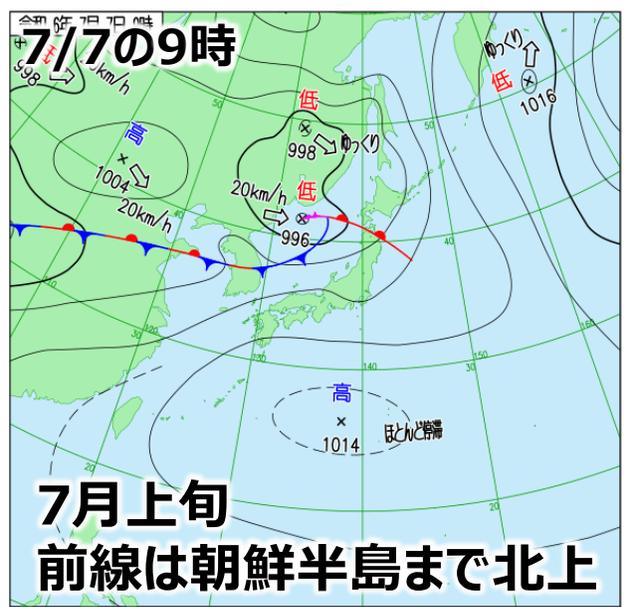
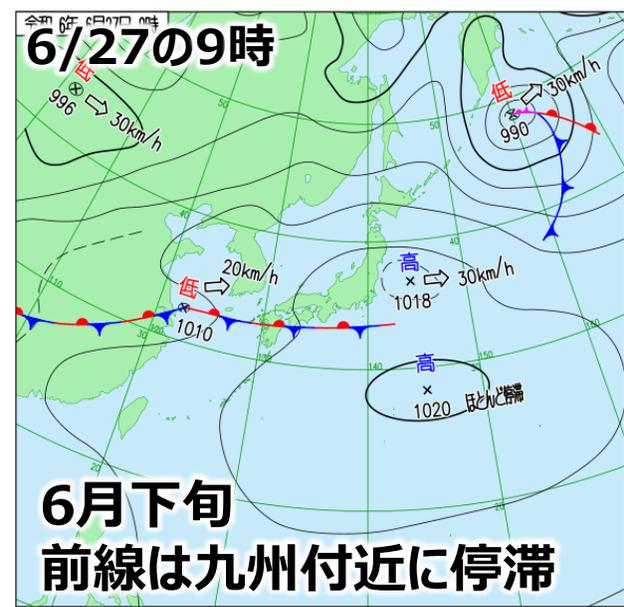
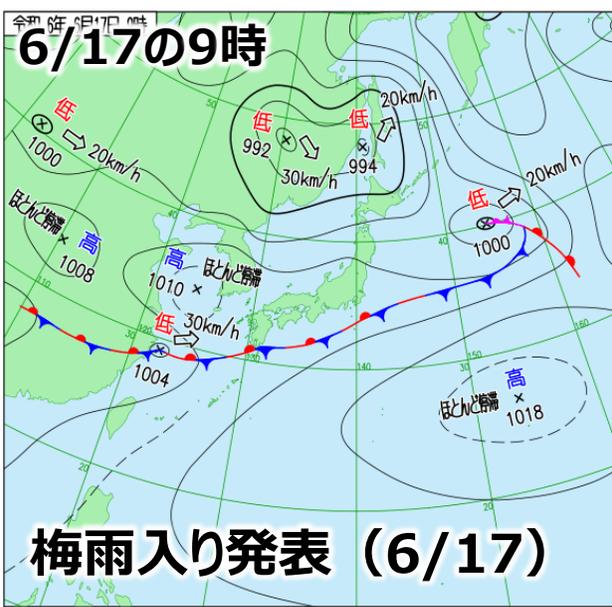
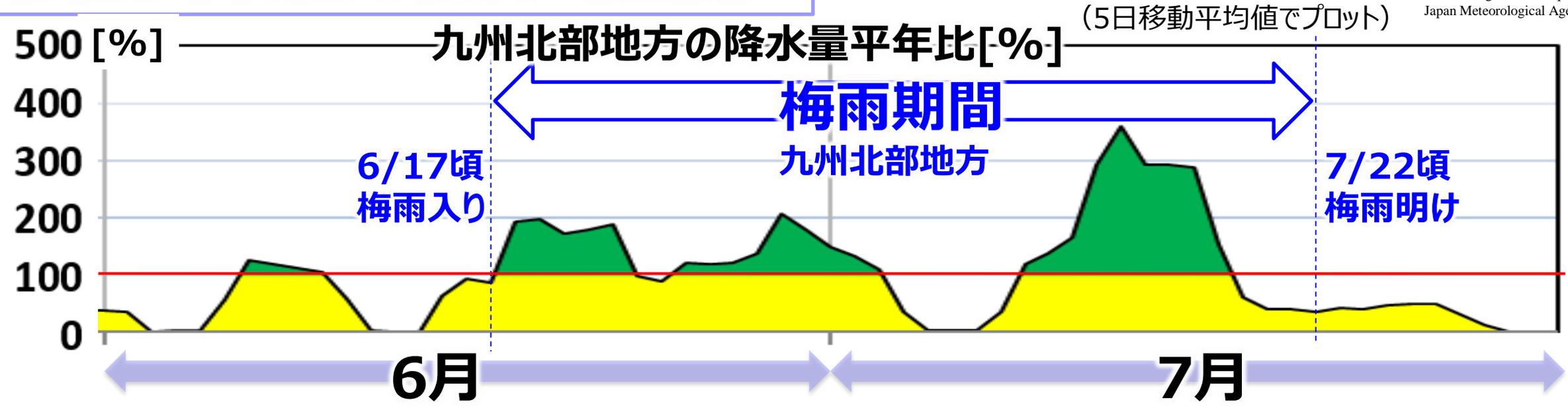
令和6年8月26日
福岡県災害復旧・復興推進本部会議

令和6年梅雨の概況、 今後の気象の見通しについて

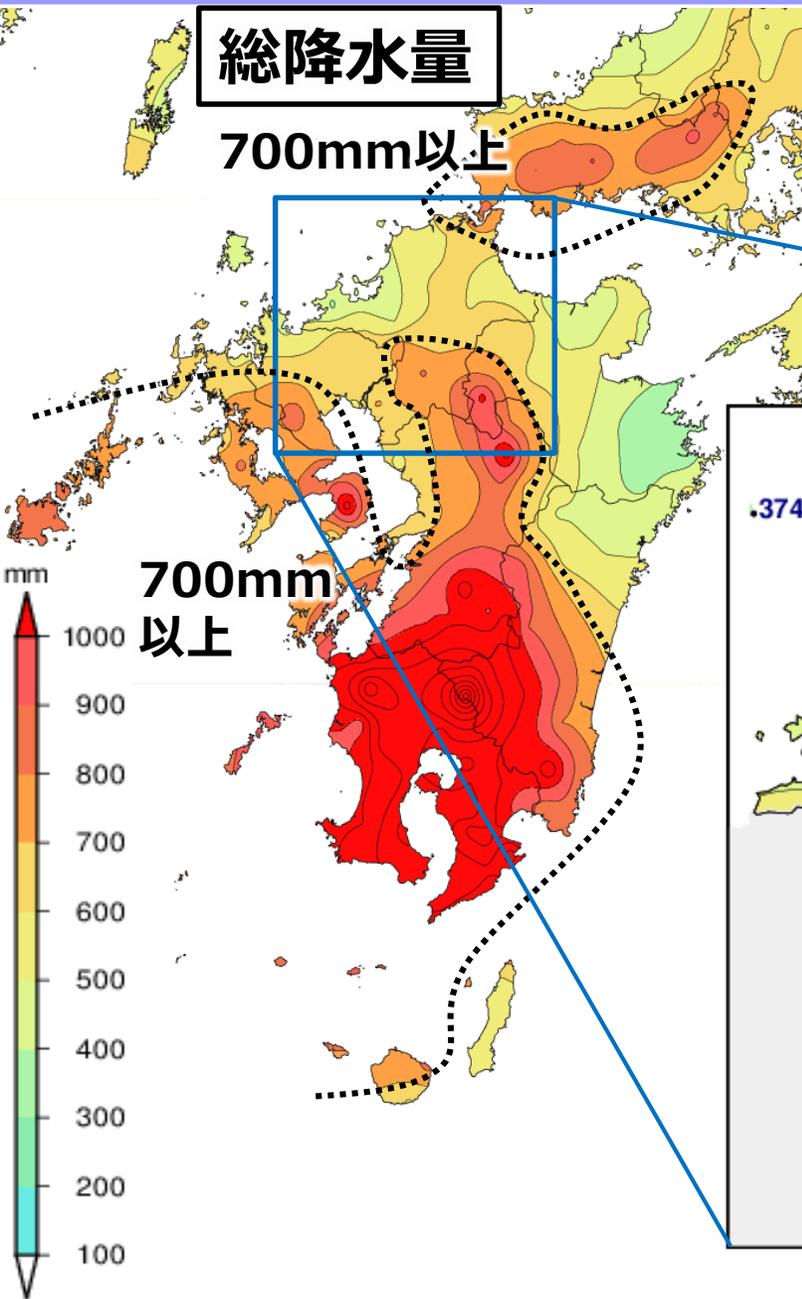
福岡管区気象台気象防災部
気候変動・海洋情報調整官

令和6年梅雨の概況

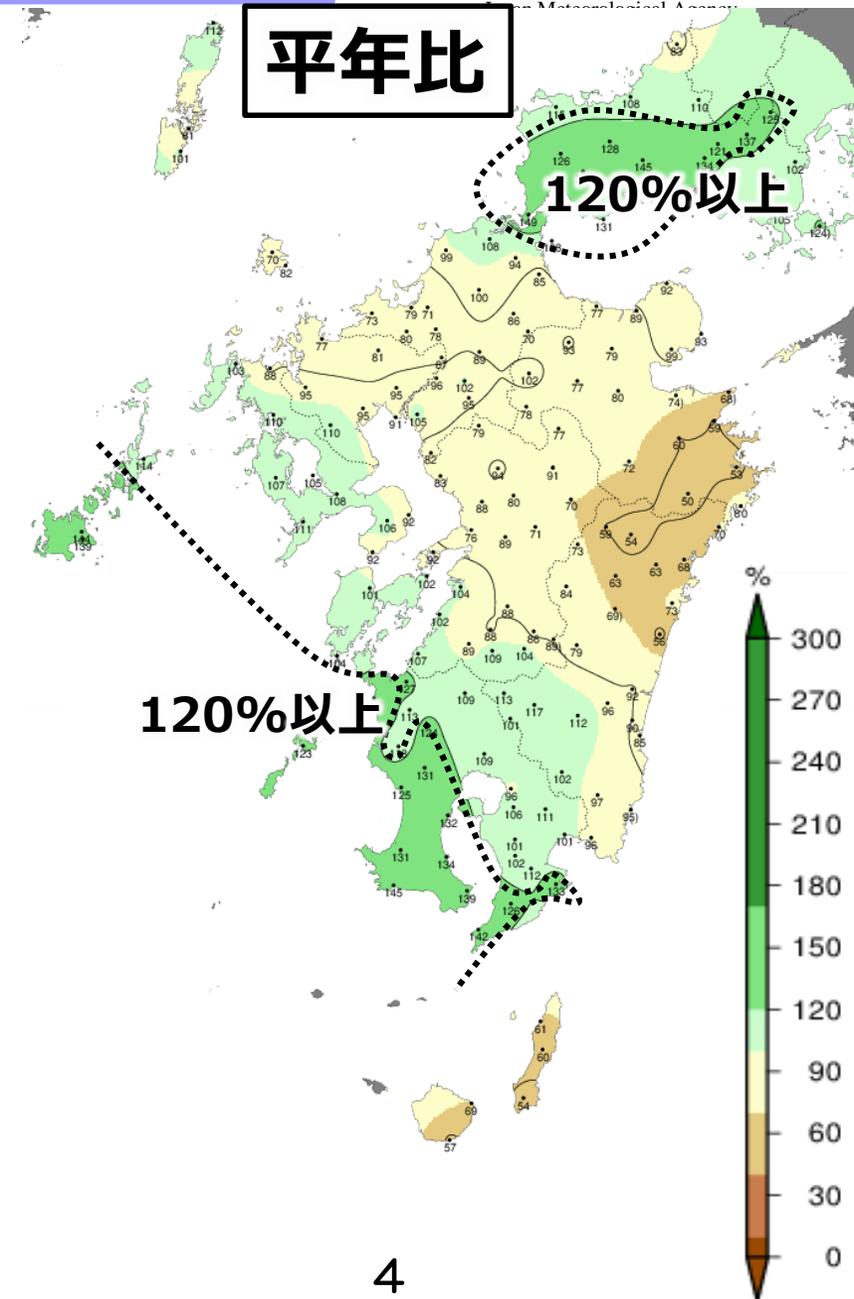
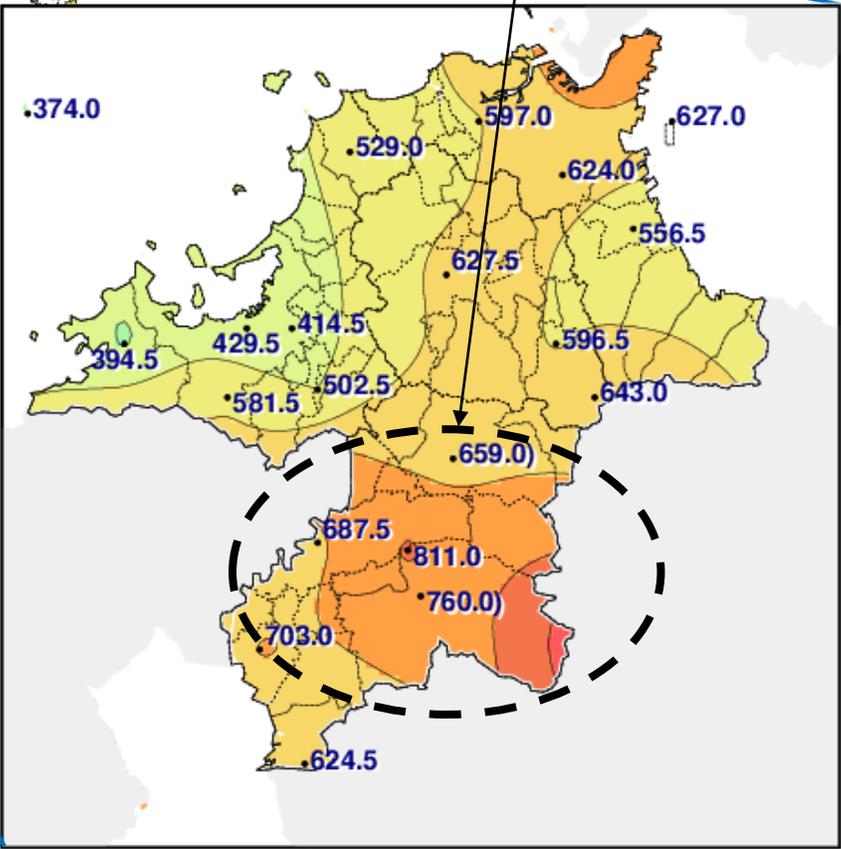
令和6年梅雨の概況（速報）



九州北部地方の梅雨時期（6月～7月）の降水量分布



筑後地方は広範囲で
700mmを上回った

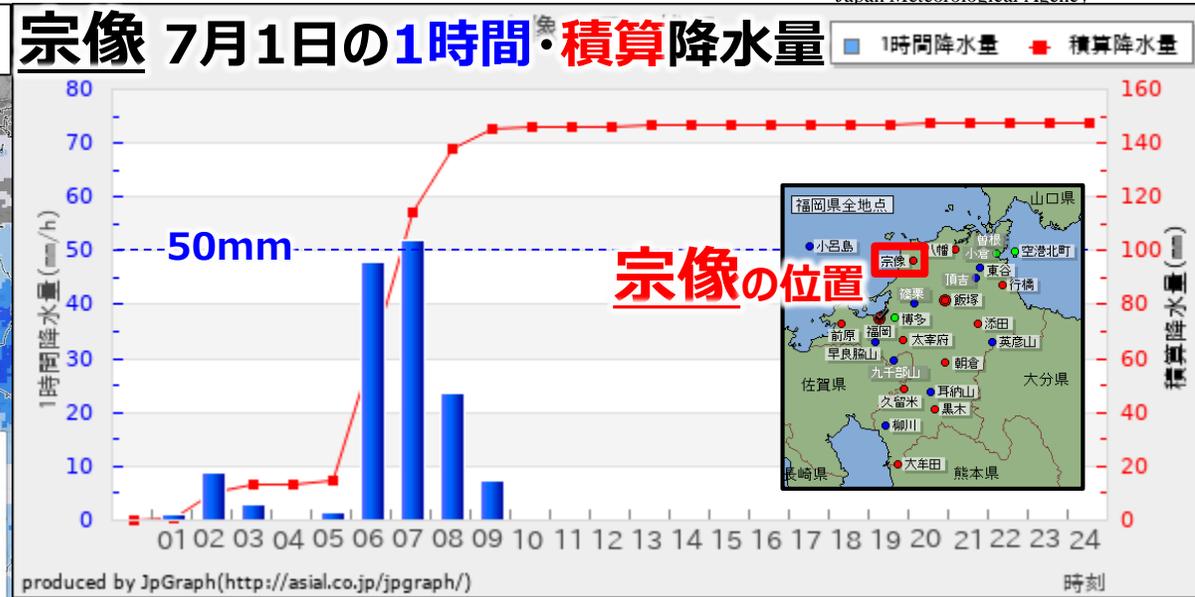
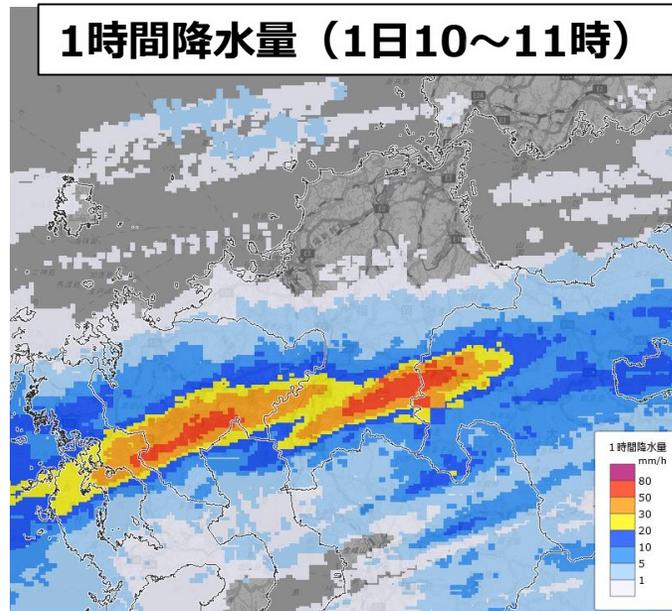
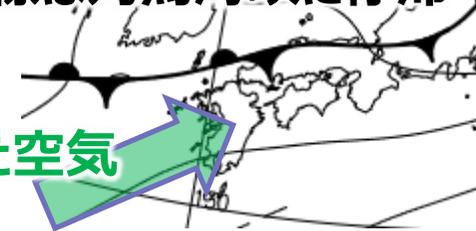


福岡県の広範囲で大雨となった事例（7月1日～2日）

前線南側で断続的に大雨となり、土砂災害「危険」な領域出現

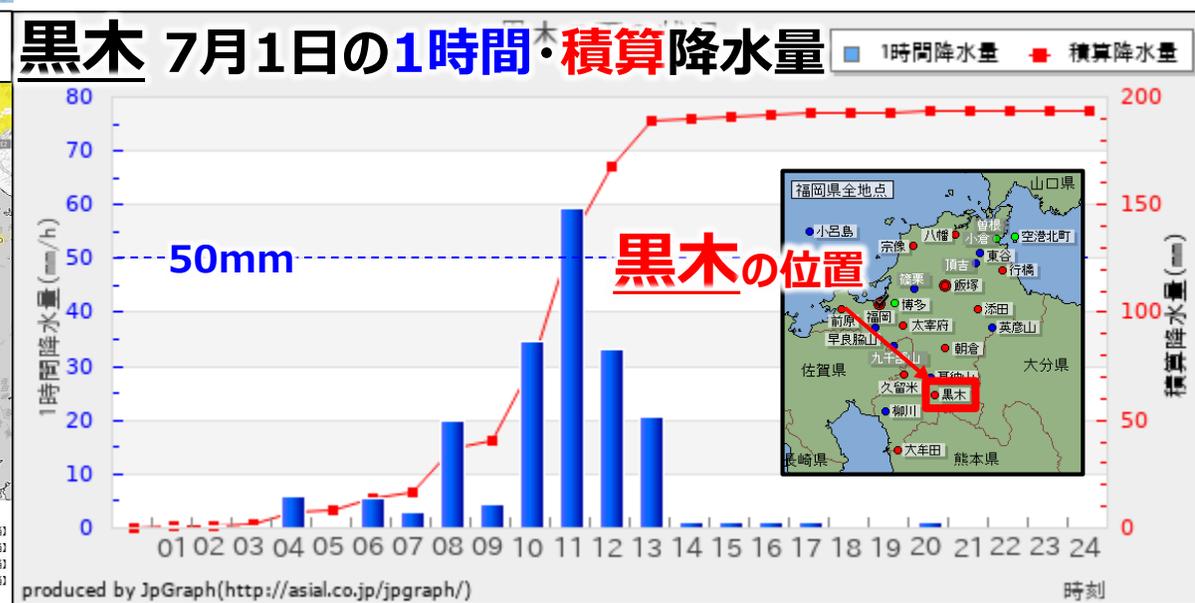
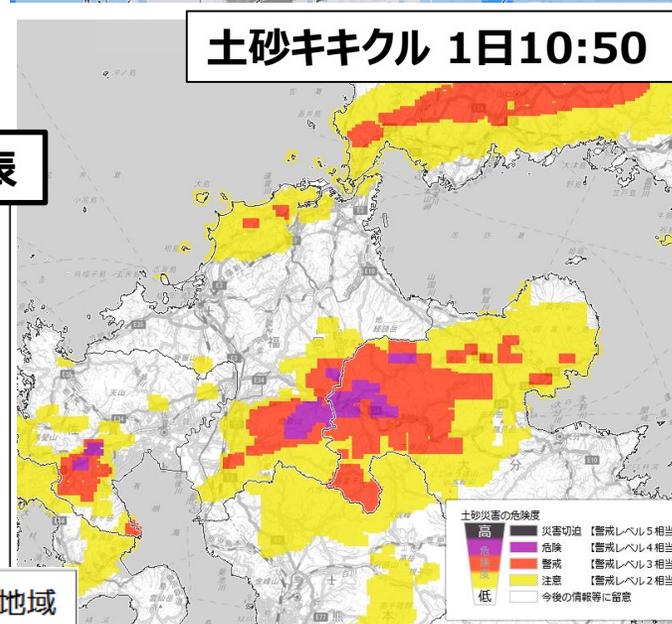
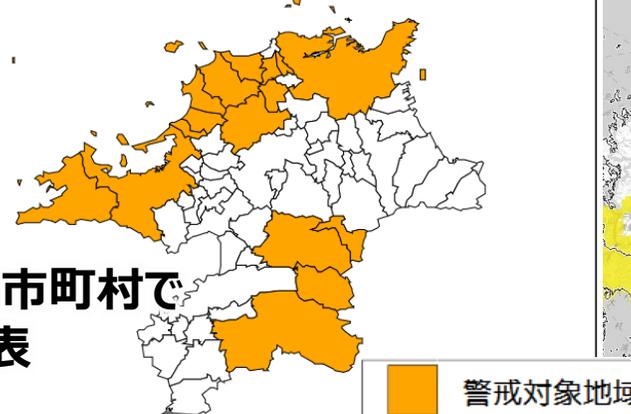
天気図（7月1日9時）

前線は対馬海峡に停滞



県内広範囲に土砂災害警戒情報発表

16市町村で発表



梅雨期間の特徴

- **九州北部地方は、かなり遅い梅雨入り発表となった**
(今年6月17日頃、平年6月4日頃)
- **梅雨期間中、県内に土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）を発表した**（7月1日、2日、11日、15日）

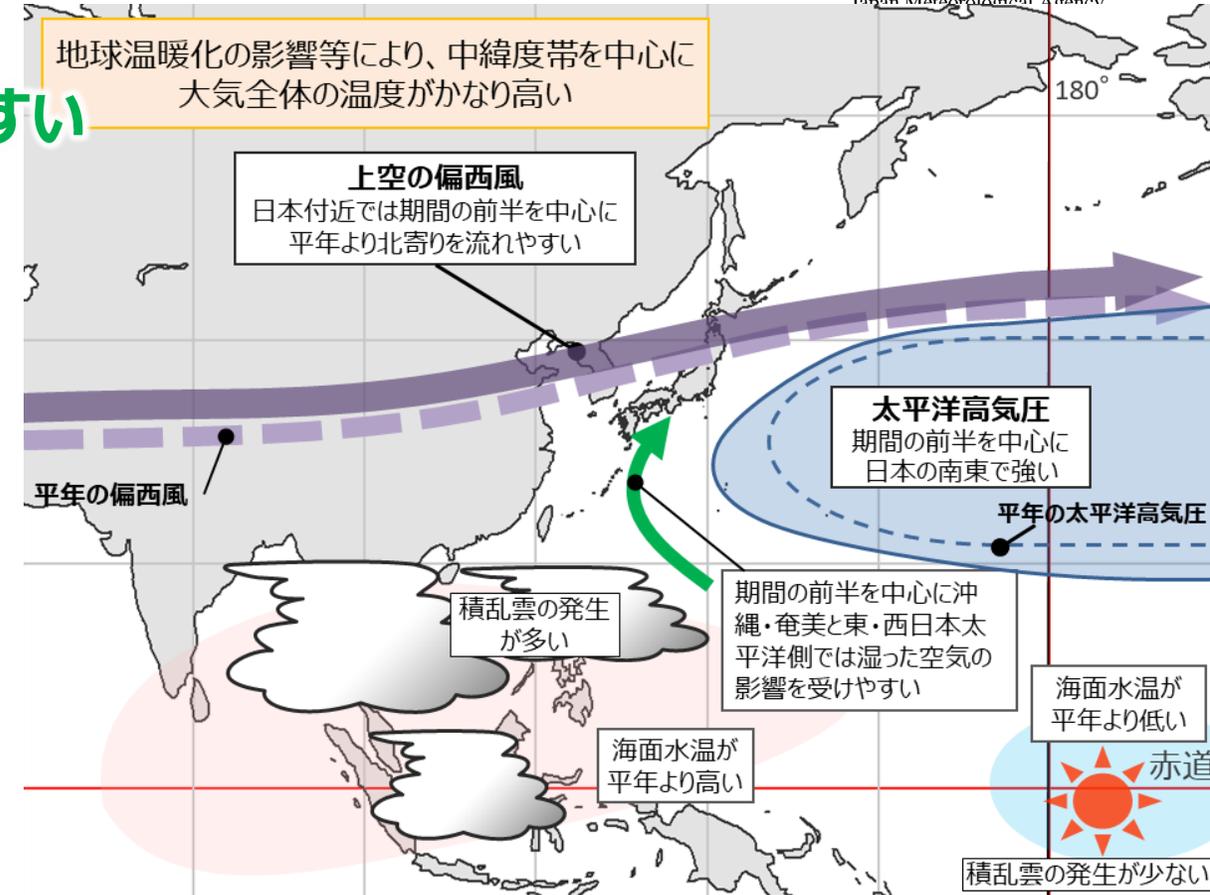
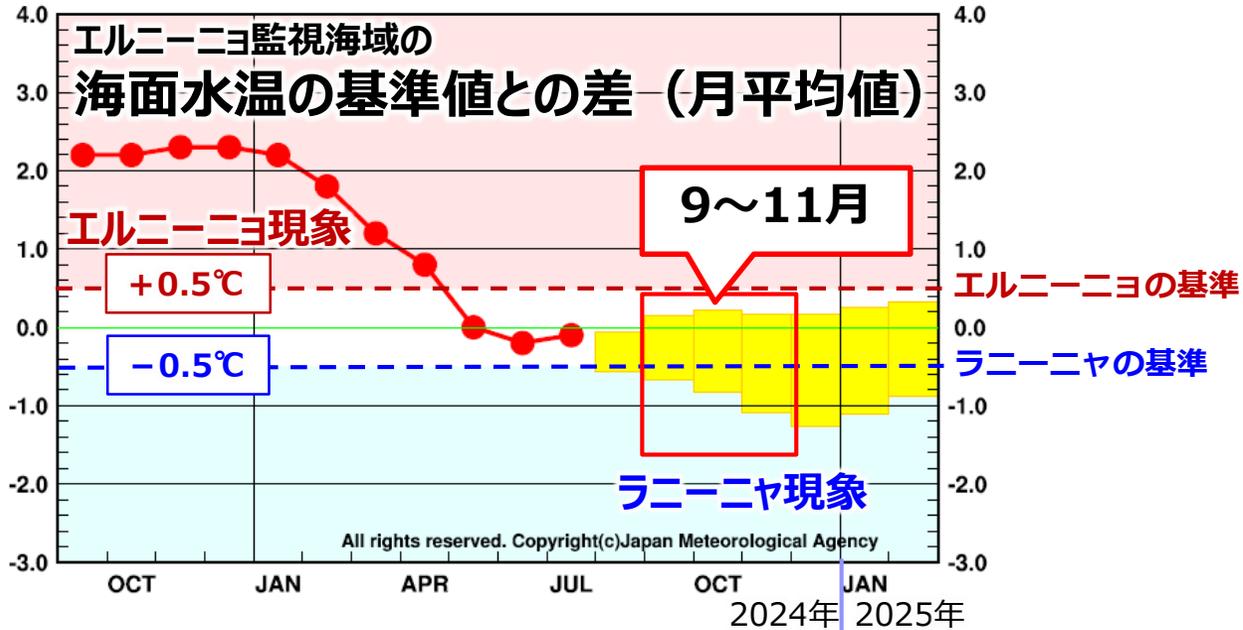
令和5年の梅雨の大雨との比較

- **令和5年梅雨期間は、特に7月10日は線状降水帯が複数発生し大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨となった**
- ⇒ 令和6年梅雨期間は、令和5年と比べて、**大雨が同じ地域で集中しなかった**ため甚大な災害につながるような大雨にはならなかった

今後の気象の見通し (9月～11月の3か月予報)

3か月（9～11月）の海洋と大気の特徴

九州付近は、**暖かい空気に覆われやすく、**
期間の前半を中心に、**湿った空気の影響を受けやすい**



- 地球温暖化等の影響により、中緯度帯を中心に**大気全体の温度がかなり高い**
- ラニーニャ現象**が発生する可能性が高いため、海面水温が中・東部太平洋熱帯域で**低く**、西部太平洋熱帯域やインド洋東部熱帯域で**高い**
- 東南アジア付近を中心に**積乱雲の発生が多い**
- 期間の前半を中心に、**太平洋高気圧**が日本の南東で強いため、九州付近は高気圧の縁辺を回る**湿った空気が入りやすく**、偏西風は日本付近で平年より**北よりを流れる**

	気温 低 並 高 (%)	降水量 少 並 多 (%)	天候
9~11月	高い 10 : 30 : 60	平年並か多い 20 : 40 : 40	
9月	高い 10 : 30 : 60	平年並か多い 20 : 40 : 40	天気は数日の周期で変わる。
10月	高い 10 : 40 : 50	平年並か多い 20 : 40 : 40	天気は数日の周期で変わるが、 湿った空気や前線などの影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ない。
11月	ほぼ平年並 30 : 30 : 40	ほぼ平年並 30 : 40 : 30	天気は数日の周期で変わる。

8月22日発表 1か月予報 (8/24~9/23)

	気温 低 並 高 (%)	降水量 少 並 多 (%)	日照時間 少 並 多 (%)
1か月	高い 10 : 10 : 80	多い 20 : 30 : 50	ほぼ平年並 40 : 30 : 30

- ・暖かい空気に覆われやすく、**向こう1か月の気温は高く、2週目はかなり高い**
- ・湿った空気の影響を受けやすい時期があり、**向こう1か月の降水量は多い**

--向こう3か月の見通し--

(気温)

暖かい空気に覆われやすいため、

9月と10月を中心に**気温は高い**

(降水量)

湿った空気や前線などの影響を受けやすいため、

9月と10月は**降水量は平年並が多い**

【留意事項】

- ・ 気温が高いため、引き続き**熱中症や農作物の管理等に注意**
- ・ 南からの湿った空気や秋雨前線などの影響を受けやすい
また、台風シーズンに入っている
- ・ 常に最新の予報や早期天候情報、気象情報等をご利用ください